

採点基準

1. 学習指導要領を踏まえた指導内容が記されている。
2. 自身の教員経験にもとづいて具体的な指導内容が記されている。
3. 自分の考えが論理的に記されている。
4. 文章表現が的確である。

15  
点

15  
点

10  
点

10  
点

論述

出題の意図

受験生が教員経験にもとづき、高校の各教科で指導する内容について自分の考えを論理的に表現できるのかを問う問題である。

# 書学

令和7年9月20日

大池茂樹

大学院入試 【書学】 出題意図 ならびに解答例 (採点評価項目)

設問①～⑤のうち2問選択 (各25点) とする 書論の中で扱う書道理論、書道史、国語国文学、漢文、書写書道教育、文字論、実技についての知識理解を総合的に問うために設問を設定した

① 楷書について (意図: 書道の歴史、理論と実技の関係性 (10点)、実際に書く時の留意点を把握する (15点) ことで、書道実技への関心を問うものである)

・楷書の生成と変遷の歴史が把握できているか 漢時代に生まれた行書のを受け継ぎ、三国時代ころに生まれた 南北朝時代を経て初唐時代に完成したこと 行書草書の書き方による楷書の異体が六朝時代以降手書きされ、現代にいたるまで手書きの楷書が受け継がれてきていること いっぽう、顔元孫の「干禄字書」により、正字・俗字・通字の意識が生まれ、中唐の顔真卿の正字楷書を経て印刷文字系列の楷書が現代につながっていること 現代日本では常用漢字という形で楷書の書き方が普及しているということ これらのいくつかが言及されているか否か

・楷書と他の書体との違いが述べられるか 例えば「三過折」についての言及の有無 (以上10点)

・楷書を書く時の姿勢、執筆についての留意点、他の書体の時との違い、その他気が付いた点についての的確に述べられているか (以下15点)

・楷書を書く時の運筆について、唐時代の楷書、六朝時代の楷書の具体例をあげながらそれぞれの違いについて、あるいはその中のひとつについて、起筆部分、収筆部分、送筆部分、転折部分の筆の動き、強弱抑揚にかかる筆圧のかけ方、遅速太細の変化についての言及の有無

・書かれた書跡について、筆勢、線質、気韻生動についての言及があるか否かにより、書を鑑賞する力を有しているか

② 源氏物語絵巻の翻字と解説 (意図: 常用漢字・楷書の識字はもちろんである 加えて行書・草書・仮名の識字、文脈での理解 (15点) とともに、書かれた書跡についての書誌学的知識 (10点) を問うものである)

・全46字のうち、40字以上正解は15点、以下1字ごとに1点減点するので、25字以下は0点とする (本文の読解は翻字にゆずる)

・解説では、源氏物語について、絵巻について、筆跡について、料紙の技法、あるいは西暦2000年に発行された2000円札のデザインに使用されたことなどについてのうちのひとつが的確に言及されている (10点) こと 例えば、料紙についていえば、切り継ぎの紙継ぎ

が見られること、金銀切箔・野毛などの装飾技法が見られることなどについて述べられていることなどを見る

③ 『東坡題跋』の「書を論ず」についての訓読と解釈（意図：漢文訓読（今回は返り点7点）と書論文章の理解、書論における作者蘇東坡と彼の理論の理解、題跋の書論における位置づけ（18点）などを問うものである）

・漢文を的確に読み下し、読解できているか（返り点6か所のうち全箇所正解で点7点、1か所誤るごとに2点減点）

・蘇東坡という人の歴史的、書道的、書論的位置づけを述べているか 例え、北宋時代の政治家であり、書道では宋の四家の一人であり、その生涯についての理解を見る

・書跡を人体の部分（神気骨肉血）に例えることで、筆跡の表面的・内面的・精神的な様相を実感できるという点について言及があるか

・成書とは何かについての言及

④ 中学校国語科における書写教育について（意図：学校書写書道教育について、学習指導要領の中での位置づけ（10点）、学校現場における書写指導の実態および問題点（15点）についての理解や展望がいかほどかを問う）

・中学校学習指導要領では、小学校書写と高等学校書道の間において学習すべき事項が示されている 例え、小学校で学んだ「筆圧」「穂先の動き」をいかに行書学習に生かすことができるか 高等学校以降で学ぶ芸術としての書道へいかに引き継ぐかという点について言及されているか

・中学校1学年および2学年では各20時間程度、3学年では10時間の合計50時間が求められている にもかかわらず時間割に組み込まれている書写時間はそれに及ばないなどの現状について取り上げ、実態把握、問題提起、今後の在り方、展望についての言及

⑤ 書道、文字、書道史、書誌についての知識・理解（意図：上記①～④に盛り込めなかった項目について補完する 5項目のうち2項目選択し、1項目について12.5点を問う）

【千字文 常用漢字 集王聖教序 三筆 古筆切】

・例え、三筆については、平安の三筆の三名についての言及、筆跡の特徴、日本書道史における位置づけなどに言及してほしい（12.5点） 代表的に平安の三筆が想定されるであろうが、それ以外の三筆（幕末の三筆）などの存在にも言及した場合は多少加点してもよい（+?点）

・他の事項についても同様である

以上